NARISHIGE WEB NEWS

No.084 (2014 年 02 月 14 日発行)

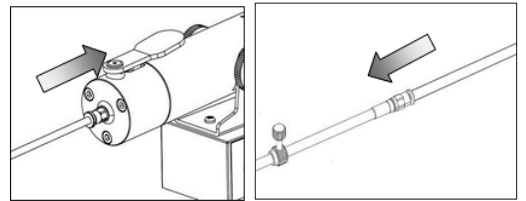
IM-11 シリーズ、IM-12 使用時のチェックポイント

空圧マイクロインジェクター　IM-11 シリーズ、IM-12 はおかげさまでご好評を博し、使用頂いているお客様の数も増えてきました。油圧マイクロインジェクターに比べ、メンテナンスやセットアップが楽というメリットがありますが、空圧の特性としていくつかご注意いただきたい点があります。

今回の NARISHIGE　WEB　NEWS では、その点についてお伝えしたいと思います。

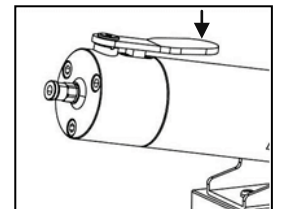
使用前のチェックポイント

■接続の確認をお願いします。
空圧マイクロインジェクターは、空気を圧縮して操作するので空気漏れが起きていると圧が上がりません。操作がうまくいかないな、というときには各接続を確認してみてください。

特にチューブと本体やホルダーを接続する部分（フィッティング）は、奥まで挿し込まないとエアーが漏れる原因となります。

使用中のチェックポイント

■ピペットの先端を人に向けないでください。
空圧・油圧マイクロインジェクターは、操作中に内部の圧力が非常に高くなります。ピペットの締め付けが甘い場合にはピペットが飛び出してしまうようなことが起りえますので危険です。
取扱説明書にも注意書きとして載っていますが、使用中にピペット先端が人のいる方に向かないようにしてください。

使用後のチェックポイント

■使用後は本体内部の圧力を解放してください。
操作中には本体内部の圧力は高い状態になっています。その状態で接続をゆるめたりしてしまうと危険です。使用後は必ず本体内部の圧力を抜いてください。

■チューブやホルダー、マイクロインジェクター本体に異物や溶液などが入らないようにしてください。
油圧マイクロインジェクターは、オイルで押すという仕組みなので、本体内部に異物や溶液などが入りません。しかし、空圧マイクロインジェクターの場合には、空気を圧縮して操作しますので、溶液につけたまま圧を抜いたりしますと、吸い上げてしまう事が起こります。チューブやホルダー内に液が残った状態ですとレスポンスがわるくなったり詰まったりすることがありますし、本体内部に入りますと腐食したり、べたつきなどにより操作感が悪くなったり、場合によっては操作できなくなってしまいます。その場合には、使い方の問題という事で有償修理になってしまいますのでご注意ください。もしチューブやホルダー内部に液体を吸い上げてしまった場合には、必ず押し出してください。

■使用後は必ずピペットを外してください。
ピペット先端は非常に細いため、そのまま溶液につけていたりしますと毛細管現象によって溶液を吸い上げていってしまいます。
また、ピペット内に残った溶液が、温度による圧力変化などでチューブやホルダー、インジェクター本体に入ってしまう事があります。
ですので、使用後には必ずピペットを外すようにしてください。

ご不明な点等がございましたら、お気軽に弊社までお問い合わせ下さい。

ナリシゲウェブサイト
URL: http://www.narishige.co.jp/